

事業番号	02 04 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	地域情報化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課
		実施期間	H24 ～	E-mail	sentan@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		3-7 先端技術の積極的な活用・導入		
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○長野県DX戦略(令和2年7月策定)に基づき、Society 5.0時代を見据えて、県全域のDXを行うことで5Gなどのインフラ整備を促進し、長野県を、県民や地場企業に加えて、県外の人や企業にとっても魅力的な地域にすることに資する。 【これまでの取組】 ○未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、若年層向けのアプリケーションコンテスト及びハッカソンを大学、民間企業等と連携して開催。 ○先端技術を活用し、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、AIを活用したデマンドシステムによる実証事業を実施。						
	令和2年度点検結果 ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要</td> <td>・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施</td> </tr> <tr> <td>・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要</td> <td>・デマンドシステムの実証事業を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要	・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施	・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要
課 題	今後の方向性						
・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要	・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施						
・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要	・デマンドシステムの実証事業を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施						

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	関係部局と連携して、長野県DX戦略の具体化を加速化するため以下の取組を実施。 ✓ DX推進体制強化 DX推進体制強化のため、ICTに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等から助言・調査会社等からの助言・指導業務を委託
	✓ デジタル相談窓口構築・運用 県民や企業が、時間や場所にとらわれず県に相談できる環境を整備するため、AIを活用した相談窓口を開設します。 ・県ホームページにおいて、AIを活用した相談チャットボットの構築・運用
	✓ デジタル人材の育成・誘致 多様なIT人材の育成・誘致のため、県内のIT関連拠点における取組を5Gでつなぎ、デジタルを活用した新事業創出を目指す人材が県内各地から参加できる機会を提供するとともに、その取組を全国に発信します。 ・IT関連のセミナー・勉強会等をつないだ産学官連携イベントを実施 ・デジタル人材育成応援イベント「Nagano Fledge」の開催

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	デジタル相談窓口利用件数	-	-	-	3,650		予算額	当初予算	2,657	90,485	要求 35,553 予算案 33,801
2	各地域で活動する取組と連携したイベント延べ参加者数	-	-	-	450			補正予算	9,164	12,479	
3	NaganoFledge延べ参加者数	-	-	-	1,500			合計(A)	11,821	102,964	要求 35,553 予算案 33,801
4	(参考指標) アプリコンテスト参加応募作品数	68件	74件	↑ 119件	↑ -			うち一般財源	2,398	14,522	要求 28,394 予算案 27,227
5	(参考指標) ハッカソン参加人数	-	17人	-	-		決算額(B)	10,693			
6	(参考指標) 実証によるデマンドシステム利用者満足度	-	100%	-	-		職員数(人)	7.0	7.0	7.0	
7	(参考資料) 御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域	-	-	解消	-						

成果指標設定理由	1デジタル相談窓口の利用件数を設定。 2,3各地域で活動する取組と連携したイベント延べ参加者数及びNagano Fledgeの延べ参加者数。 4,5未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するアプリコンテストの参加応募作品数及びハッカソンの参加人数を設定。 6実証によるデマンドシステムの有用性を評価するため、利用者満足度を設定。 7御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を設定。
----------	---

予算要求からの主な変更点	事業費の精査により、デジタル相談窓口構築・運用事業及びデジタル人材育成・誘致事業に係る経費を減額
--------------	--

事業名	地域情報化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課
-----	------------	----	-------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	D X 推進体制強化事業	0 千円	0 千円	要求 6,600 予算案 6,600 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタルに関する専門人材を有する調査会社等からの助言・指導業務	委託	I C Tに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等から助言・指導を受け、専門性の高い職員を育成

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	デジタル相談窓口構築・運用事業	0 千円	0 千円	要求 15,000 予算案 13,617 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタル相談窓口構築・運用事業	委託	県民及び企業に対して、時間や場所にとらわれない相談対応を行うため、必要なシステムの構築及び運用

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	デジタル人材育成・誘致事業	0 千円	0 千円	要求 12,318 予算案 11,149 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	デジタル人材育成応援イベント開催事業	委託	各地域で活動する I T 関連の人材育成団体が相互連携できる機会の提供及びデジタル人材育成応援イベント「N a g a n o F l e d g e」を開催

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	先端技術活用推進事業	1,720 千円	1,660 千円	要求 1,635 予算案 2,435 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	先端技術活用推進経費	直接	職員の旅費、事務消耗品等